



ストリートチルドレン芸術祭

Art of the Children Living on the Street

—あなたがいてくれてよかった—

2018年度 活動報告書

(2018年4月～2019年3月)



ストリートチルドレン芸術祭
2019年（平成31）年6月

目次

1. ご挨拶	3
2. ストリーチルドレン芸術祭とは	4
3. 2019年版カレンダーについて	7
4. 2018年度活動概要	10
5. 2018年度会計報告	13
6. おわりに	14

1. ご挨拶

2018年度、ストリートチルドレン芸術祭活動は、学生の意欲的な発想と計画性で推進することができました。これもご支援下さる皆様方のお力添えがあってこそと、一同感謝しております。

さて、昨年度のチャリティーカレンダーは、従来の壁掛けタイプに加え、卓上タイプを制作し販売してきましたが、壁掛けタイプに購入希望が多く、今年度は、従来の形に戻しました。少ないメンバーですが、学生代表を中心に団結し、一つ一つの活動を着実に果たしていきました。その一つとして、当初の計画通り10月の国見祭に合わせて、チャリティーカレンダーを完成し販売することができました。

さらに、ストリートチルドレン絵画展を開催することができました。場所は、山梨県北杜市にある、アルソア本社「女神の森」の施設「沙羅」コミュニティホールを、支援企業のアソアさんよりご提供いただき、12月1日から3日までの3日間開催することができました。

更なる活動の充実を図るために、2019年3月2日に拡大実行委員会を開き、組織の一部改編や活動の見直しを見据えて、新たな学生代表を選出しました。検討された活動内容には、チャリティーカレンダーの休止に伴う、2019年度の方向性が提案されました。6月1日に実施された第2回拡大実行委員会で、活動方針が承認され、推進していく運びになります。

新たなメンバーも加わりましたので、勉強会を通してストリートチルドレン芸術祭活動の意義を共有していきます。

2019年度活動へ向けて、すでに学生中心に取り組み始めています。3月、6月の拡大実行委員会で話し合われた事項を、一つ一つ確実に実行していき、ご支援ご協力下さる皆様方のご期待に応えるべく努めて参ります。

2018年度活動報告及び2019年度へ向けての活動のごあいさつとさせていただきます。

2019年6月吉日
ストリートチルドレン芸術祭代表 中島洋一郎

2. ストリートチルドレン芸術祭とは

今日、世界では貧困、紛争、虐待など様々な理由により住む家がないため、路上生活を余儀なくされているストリートチルドレンといわれる子どもたちが1億人いると言われていています。彼らは生きるために、学校へ通うこともできず、ゴミを拾いお金に換えたり、物乞いしたりすることで日々を懸命に生きています。さらに、彼らは飢餓の危険に直面しているだけでなく、誘拐されて子ども兵として戦場に送り込まれる、臓器を奪われる、性的な被害に遭うなど、さまざまな脅威にさらされています。

『ストリートチルドレン芸術祭』が誕生したのは2005年のことでした。路上で暮らす子どもたちをただ単にかわいそうと見るのではなく、彼らの描く絵を通じて、彼らの存在や思い・感性・可能性を一人でも多くの人々に実感してもらえたらという願いから、ストリートチルドレンに特化した芸術祭を開催する組織として世界で初めて誕生しました。ストリートチルドレン芸術祭は有給スタッフ不在の無償ボランティア団体です。当初は熱海市立小嵐中学校の生徒・教職員のほか、各地の小中学校の教員、国際協力関係の団体職員、会社員、主婦、大学生、高校生など、内外30名ほどのスタッフで構成されていました。世界100か国以上に広がる国際協力機構（JICA）のネットワークやNGO団体、世界の若者たちのネットワークなどの協力を得て、世界の子どもたちの絵は集められています。

東京に本部を置く『ストリートチルドレン芸術祭実行委員会』が制作するチャリティーカレンダーは、ヤンキース松井秀喜選手、女優の藤原紀香ら、各界の著名人と静岡の中学生たちが、子どもたちのために掲載用の作品を無償で選出したのがはじまりでした。これまでに世界中の子どもたちから1000点を超える作品が寄せられてきました。ここで得られた収益はストリートチルドレン支援をしている現地NGO協力のもと、こどもたちの自立支援や生活改善、学校へ行くための費用などに活用されています。

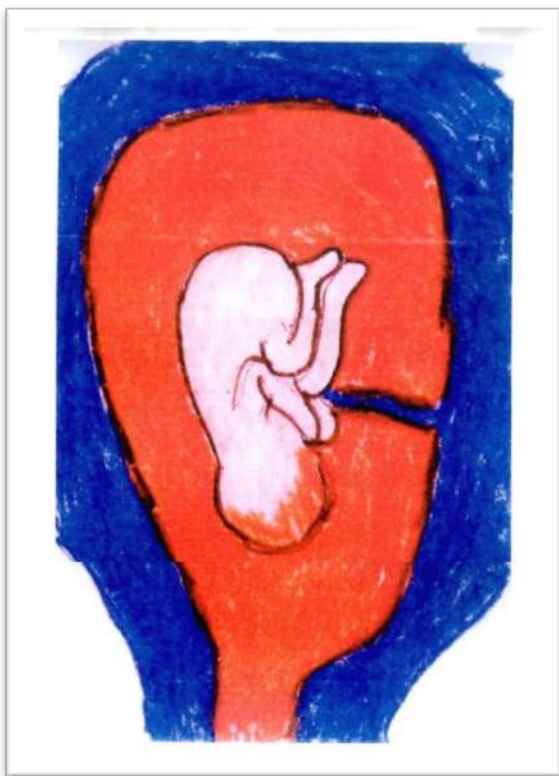
そして、芸術祭の趣旨に賛同した東北福祉大学・生田目学文ゼミが2007年からカレンダー作りに参加したのが、私たち東北支部のはじまりです。3年間のゼミ内での活動を経て2010年からは大学公認の国際ボランティアサークルとして、より多くの学生が活動に加わり、活動範囲も広がりました。また2011年からは、多くの方々にご協力いただきながら、東北支部の学生が主体となってカレンダー制作、販売ならびに世界中の子どもたちが描いた絵の展示会などを行っております。

2005年から活動が始まったストリートチルドレン芸術祭は今年で14年目を迎えました。2019年度はチャリティーグッズ制作や原画展、イベント参加等による啓発活動を通して、ストリートチルドレンや世界中で支援を必要としている子どもたちの想いや存在を、ひとりでも多くの方々へお伝えし、活動の更なる発展を目指していきたいと考えております。

○活動の趣旨

この一枚の絵は、私たちストリートチルドレン芸術祭の活動の原点です。

「将来自分が住みたい家」というテーマで、多くの子どもは田園風景に広がる小さな家を描く中、彼だけが、お母さんのお腹の中にいる胎児を描きました。彼は、「だって自分が15年間生きてきた中でここが一番安全だから…。」というコメントを寄せました。



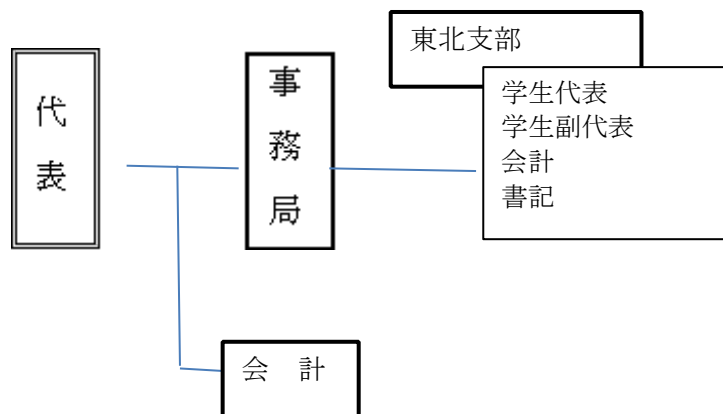
作者：ジェイソン（男子）
（2005年作品 提供時15歳）
国：フィリピン

『世界の子どもたちが安心して暮らせる安全な環境』

ストリートチルドレンをはじめ様々な困難な環境のもと生きている子どもたちが描く絵を通して、彼らの存在、思い、可能性をより多くの方にしっていただき、世界の子どもたちが安心して暮らせるような環境づくりのための支援活動を行うことを目的としています。

○組織概要

ストリートチルドレン芸術祭組織図



ストリートチルドレン芸術祭の活動運営主体は、東北支部（東北福祉大学国際ボランティアサークル）です。

3. 2019年版チャリティーカレンダー制作について

2019年度版チャリティーカレンダーのテーマは、『 』～十人十色～です。

テーマは子どもたちひとりひとりに決めていただきます。

例年、芸術祭は子どもたちに絵を描いてもらうテーマを決めてきましたが、今年は子どもたちひとりひとりにテーマを決めて描いてもらうことにしました。

子どもたちが自由にテーマを決め、本当に描きたいものや伝えたいことを絵にしてもらいたいと思っています。しかし、テーマを与えられないと何を描いてよいかを迷う子どもたちもいることでしょう。自分が今感じていること、好きなこと、欲しいもの、自分の国の好きなところ、友人のこと、など様々なことを自分で考え、楽しみながら真っ白な紙を自由に彩ってもらいたいと思います。そして子どもたちの絵を見て、どんなテーマで何の絵を描いたのか、想像する楽しさもあるのではないのでしょうか。描く子どもたち、見る人たち、みんなが楽しむことができることで、よりよい「芸術祭」になるのではないかと思います。

これからも子どもたちが絵を描く楽しさを感じ、それを見る人たちが彼らの絵を通して何か得るものがあれば幸いです。子どもたちの将来が明るいものになることを願っています。

○絵の募集先

国	団体名
インド	チベット子ども村(TCV) ニランジャナ
カンボジア	愛センター
ザンビア	孤児たちの希望
モンゴル	モンゴル子ども支援ネットワーク (IVNMC)
バングラディシュ	エクマットラ

2019年版チャリティーカレンダーの制作に伴い、上記の5カ国6施設に絵の募集をかけ、計119点の絵が集まりました。

○選考者について

以下の方に選考していただきました。

月	名前	職業等
表紙	ストリートチルドレン芸術祭	国際ボランティアサークル
1月	榎木孝明さん	俳優業、絵師
2月	一般選考(SNS)	
3月	きむらゆういちさん	絵本童話作家
4月	COLORsさん	福島大学国際交流サークル
5月	池上彰さん	ジャーナリスト
6月	滝口玲子さん	アルソア本社株式会社 代表取締役社長
7月	工藤律子さん	ジャーナリスト
8月	北村元さん	ジャーナリスト
9月	ミネハハ 松本美音さん	シンガー
10月	東北楽天ゴールデンイーグルスさん	プロ野球チーム
11月	イルカさん	シンガーソングライター
12月	熱海中学校 生徒さん	中学生

○絵について

月	名前	年齢	出身	題名
表紙	ラウガー	7歳	モンゴル	幸せの木
1月	Tashi Dhargyai	18歳	チベット	お母さんがどれだけ 子どもたちを心配したか
2月	Zigmey Wangchuk	13歳	チベット	自然
3月	Jenin Naawang	18歳	チベット	リーダー
4月	Tsanypa Tashi	17歳	チベット	チベットの自然
5月	Tuhin Alam	14歳	バングラディシュ	ぼくの夢
6月	Joy Baneerji	13歳	バングラディシュ	眠るネコ
7月	Tenzin Palkyi	7歳	チベット	夜は美しい
8月	Ngwang Dhargyal	14歳	チベット	宗教
9月	Rakibui Islam Rakib	10歳	バングラディシュ	夢のドライブ
10月	Tenzin Kelsang	9歳	チベット	私たちは動物を愛していく
11月	Tenzin Choekyi	13歳	バングラディシュ	私の国チベット
12月	Sania Afsana Mili	13歳	バングラディシュ	広い宇宙

○デザイン

〈壁掛けタイプ〉

各月に子どもたちが描いた絵を使用しています。絵と共に作者の出身国、名前、年齢、性別、絵のタイトル、コメント、生い立ち、選考者の方の情報、絵を選んだ理由の掲載をしています。

また、裏表紙等にカンボジアなどの子どもたちが描いた絵をちりばめています。



4. 2018 年度活動概要

○ せんだい地球フェスタ

毎年宮城県仙台市で行われる、様々な国際交流・国際協力団体が集まるイベントです。こちらでは原画の展示に加え、子どもたちの絵を使ったパズルや国旗のカードゲームなど子どもたちが遊べるブースを出展しました。

開催日時：2018年9月17日(月・祝) 場所：仙台国際センター（宮城県仙台市）



○ 東北福祉大学学園祭「国見祭」

原画展をメインに、子どもたちの絵を使ったパズル、国旗のカードゲーム等を実施いたしました。また2019年版チャリティーカレンダーの販売も行い、学生をはじめ、多くの方々にお越しいただきました。

開催日時：2018年10月20日(土)・21日(日) 場所：東北福祉大学（宮城県仙台市）



○ 第10回くにみ街道まつり

東北福祉大学が主催する地方創生事業のイベントにてブースを設けさせていただき、原画の展示と2019年版チャリティーカレンダーの販売を行いました。大学周辺地域の方々をはじめ、多くの方々にご来場いただきました。

開催日時：2018年10月28日(日) 場所：東北福祉大学 ステーションキャンパス
(宮城県仙台市)



○ 2016年版チャリティーカレンダー街頭販売会

仙台の老舗百貨店である仙台藤崎百貨店様のご協力をいただき、街頭販売会を行わせていただきました。多くの方々にカレンダーを手にとって頂き、ストリートチルドレン芸術祭の活動について知っていただける機会となりました。

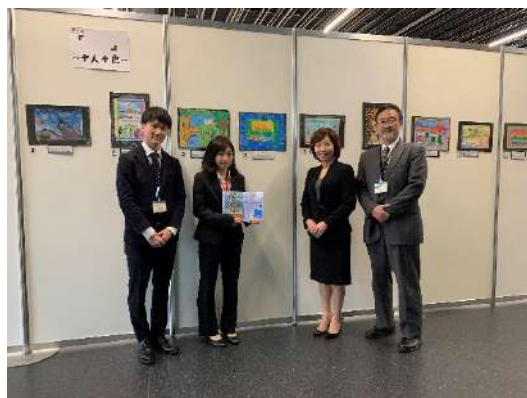
開催日時：2018年11月3日(土)・4日(日) 場所：仙台藤崎百貨店 (宮城県仙台市)



○ 原画展

毎年 100 点以上の原画が集まりますが、カレンダーへ選ばれるのはその中の 13 点だけです。カレンダーに選ばれなかった作品も多くの方に見ていただきたい、そして彼らの思いを伝えたいという思いから直接見て感じられる原画展を開催しております。今年、アルソア本社株式会社さんのご協力により山梨県で開催することができました。

開催日時：2018 年 12 月 1 日(土)・2 日 場所：『女神の森セントラルガーデン』沙羅コミュニティホール（山梨県北杜市）



5. 2018 年度会計報告

(2018 年 4 月 1 日～2019 年 4 月 1 日)

収入の部		支出の部	
1. カレンダー・グッズ売上	¥2,235,000	1. カレンダー・グッズ制作費	¥981,720
A. 壁掛けカレンダー	¥2,220,000	A. 壁掛けカレンダー	¥629,100
B. ラバーバンド	¥15,000	B. ラバーバンド	¥352,620
2. 協賛金	¥410,000	2. 支援金	¥802,607
3. 助成金	¥30,000	3. 旅費交通費(東北)	¥318,806
4. 寄付金	¥16,188	4. 旅費交通費(東京)	¥173,240
5. 前年度繰越金(2017 年度からの繰越)	¥4,844,956	5. イベント費	¥4,492
当期収入合計	¥7,536,144	6. 事務管理費	¥111,830
		A. 名刺制作費	¥4,620
		B. 郵送費	¥49,381
		C. 印刷費	¥7,371
		D. 事務消耗品費	¥18,500
		E. HP 管理費	¥17,280
		F. 送金手数料	¥9,502
		G. 会議費	¥5,176
		当期支出合計	¥2,392,695

当期収入合計ー当期支出合計		¥5,143,449	
残高	東北	【ゆうちょ】	¥1,812,861
		【現金】	¥188,298
	東京	【ゆうちょ】	¥757,722
		【みずほ】	¥2,156,403
		【現金】	¥228,165
	合計		¥5,143,449
誤差		¥0	

【協賛金】

・なかむら歯科様	¥100,000
・アルソア本社株式会社様 (協賛金+ロゴ代)	¥300,000 ¥10,000

【支援金】・インド(TCV：(前年度に 10 万送金済。2018 年度は追加の 5 万のみ送金) ・カンボジア・ザンビア・バングラデシュ・モンゴル・インドネシア・キルギス(2607 円分：紙風船や A4 コピー用紙等)

6 カ国 6 施設に 15 万円送りました。(インドへの支援金の一部は前年度会計に含んでいます。) また、キルギススタツアにて物資支援を行いました。

6. おわりに

2018年度の活動も無事に終わることができました。ストリートチルドレン芸術祭発足から14年、東北福祉大学が参加してから12年が経ちました。東日本大震災を機に事務局機能を大学に移転してからも8年が経過しました。

これだけ長きにわたり活動を続けていくことができたのも、チャリティーカレンダーを購入してくださる支援者のみなさま、寄付金等で応援して下さる多くのみなさまの支えによるものです。心より感謝申し上げます。また、協賛企業のアルソアさまは、協賛金で支援して下さる上に、子どもたちの原画の展示会も開催して下さり、多くの方々に絵を見ていただくことができました。

世界中の子どもたちの絵を事務局に送ってくださる支援団体のみなさま、厳しいスケジュールのなか学生たちの活動を温かくサポートして下さる印刷関係のみなさま、そして新入生へのカレンダー配布等でお世話になっている東北福祉大学当局の関係者のみなさまに、深く御礼申し上げます。

冒頭の代表あいさつにありますように、組織の一部改編や活動の見直しが行われ、2019年度は新たな歩みを始めます。

2019年度のストリートチルドレン芸術祭の活動につきましても、みなさまのあたたかいご支援を賜りますよう、お願いいたします。

2019年6月吉日
ストリートチルドレン芸術祭事務局 生田目学文

〈連絡先〉

Mail:charity@tfu-mail.tfu.ac.jp

〒981-8522

仙台市青葉区国見1-8-1 東北福祉大学・生田目研究室内

TEL&FAX:022-301-1260

HP: <http://www.children-smile.com/>